

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05020300

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	10	地域福祉の推進	事業優先度	B		
単位施策	1	福祉意識の醸成	政策事務分類	1	単独自治事務(例規)	
事業名	社会福祉協議会補助事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担 当 課	5	保健福祉課	
事業主体	雄武町		関 係 課	#N/A		
事業指標	協議会の安定運営			#N/A		
事業目標	人件費の一部補助		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	無		関係例規・法令名	有 雄武町社会福祉法人の助成に関する条例		
住民協働			関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 25 年度 事 業 内 容	平成 26 年度 事 業 内 容	平成 27 年度 事 業 内 容	平成 28 年度 事 業 内 容	平成 29 年度 事 業 内 容
計 画 内 容	地域福祉活動の中核的な役割を担っている社会福祉協議会の組織強化、運営基盤の安定を図るべく、社協事務局職員人件費相当の補助を行う。	社協事務局職員人件費相当の補助を行う。(1名分)	社協事務局職員人件費相当の補助を行う。 各種団体を社協事務局へ移行するための検討・協議を行う。	社協事務局職員人件費相当の補助を行う。	社協事務局職員人件費相当の補助を行う。	社協事務局職員人件費相当の補助を行う。
	事業費(千円)	45,102	3,000	10,698	10,468	10,468
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	45,102	3,000	10,698	10,468	10,468	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	13,800	3,000	10,800	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	13,800	3,000	10,800			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) 社会福祉協議会の事務局職員人件費(1名分)の補助	(実施内容等) 社会福祉協議会の事務局職員人件費(4名分)の補助 老人クラブ連合会、身障協会の団体事務移管	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/拡充	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	人件費の一部補助	人件費の一部補助	人件費の一部補助	人件費の一部補助
	年度達成率	100%	101%	0%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	7%	31%	31%	31%
事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆				

事業名	社会福祉協議会補助事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田通敏
		評価者 作成者 職氏名	社会福祉係長	内宮真希

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町社会福祉協議会	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	活動の充実と強化
【抱える課題やニーズは】	急激な高齢化社会にあって、介護や福祉を取り巻く環境は大きく変化しており、住民からの相談ニーズが多様化している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	多様なニーズに対応するため、地域福祉の組織的な担い手である雄武町社会福祉協議会における活動の充実と強化を図る。	① 人件費の補助	目標年度 平成26年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	地域福祉の課題解決に向けた取り組みを強化することで、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉を実現する。		目標値 10800千円
			実績値 10800千円
		②	達成度 100.0%
			目標年度 平成26年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	補助金の交付	雄武町社会福祉協議会の事務局職員人件費として補助金を交付した。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	行政だけでは解決できない諸問題が近年増え、こうした問題に対し地域の実情に応じた福祉づくりを進めることを目的とする民間の自主的組織が社会福祉協議会であり、その活動の充実と強化のための支援は必要性が高い。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	福祉サービスの円滑な執行のため、事業等の調整を行っている事務局に対する支援は有効である。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	雄武町社会福祉協議会の事務局職員人件費の補助を行い、組織運営を支援した。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	社会福祉協議会の活動は、地域住民全般に対して、福祉向上を目的としていることから公平である。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
地域福祉の組織的な担い手である社会福祉協議会の事業が計画どおり進められたことで、目標が達成できた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
社会福祉協議会の組織運営支援の拡充や各種団体の移行も含めた中で、組織のより効果的な運営を進める。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止